



伊豆市立修善寺南小学校

学校教育目標

平成31年度
グランドデザイン
(学校経営構想)

共に輝く たくましい 南っ子

重点目標

熱い瞳

(知)

- ・生き生きと瞳を輝かせて学びに向かう子

あふれる笑顔

(徳)

- ・笑顔いっぱい、温かい心と言葉をつなぐ子

まぶしい汗

(体)

- ・進んで働き、鍛え、いい汗を流せる子

学びづくり

○学力の向上、学力の定着を図る

- ・学習ルールの徹底、学習習慣を確実に身に付ける。
- ・学びタイムや朝学で基礎学力の定着につなげる。
- ・外国語・外国語活動の指導内容の検討ならびに指導計画の作成、指導方法の工夫と充実を図る。
- ・家庭学習の充実と習慣化を工夫する。
- ・テスト関係等で定着状況の把握と分析、指導の振り返りを行い、指導と評価の一体化を図る。
- ・聞く姿勢と話す姿勢、伝える活動の場、書く活動の場を工夫する。

○できる・分かる授業の実践で学ぶ姿勢と学習意欲を高める

- ・新学習指導要領を読み込み、各教科領域の基礎的・基本的な内容事項を押さえた授業づくりを進める。
- ・主体的・対話的で深い学びのある授業、問題解決的な学習を追求し、思考力・判断力・表現力等が身に付く工夫をする。
- ・言語活動を充実するとともに、生徒指導が機能する授業・学習集団をつくる。

○掲示、展示物の充実で落ち着いた学ぶ環境整備を図る

- ・学習センターとなる場、情報教育推進の場を整備活用する。
- ・子どもの学びの足跡が見える校内、教室内の掲示物等を工夫する。

授業が分かると思える子：55%以上
 決められた内容の家庭学習にしっかり取り組む子：75%以上
 学校・家庭でよく読書をする子：45%以上
 授業で「聞く・伝える」ができる子：60%以上
 定着度調査で80%以上をとれる子：国語80%以上、算数85%以上
 CRT調査でA判定の子：国語80%以上、算数80%以上

I期〈つくろうステージ〉4月・5月

―― 出合いの期 ――

- ・学級や児童会の組織づくり
- ・生活習慣・学習習慣の基礎づくり
- ・「南の子の約束」徹底

II期〈のぼそうステージ〉6月～9月

―― 磨き合いの期 ――

- ・仲間とのかかわりの中で、よりよい自分をめざす

III期〈たかめようステージ〉10月～12月

―― 充実期 ――

- ・目標に向け粘り強く挑戦し、今までの成果を表す
- ・支え合いながらよりよい仲間づくりをする

IV期〈かがやこうステージ〉1月～3月

―― まとめとつなぎの期 ――

- ・自分の成長を振り返る
- ・感謝の気持ちを持つ

コミュニティ・スクール
推進委員会

南っ子
サポーター

学校関係者評価委員による評価

家庭・地域・児童からのアンケート

生活づくり

○人権感覚を磨き、子どもの笑顔につながる教育活動を展開する

- ・正しいことを貫く規範意識の高揚と「生活の約束」についての生活習慣化を徹底していく。
- ・時と場に応じた態度や相手目線に立った人を思いやる温かい言葉遣いを身に付ける。
- ・インクルーシブ教育システムの構築の在り方を視野に入れた特別支援教育の理解とユニバーサルデザインの視点から、学級や個に合ったきめ細かい指導を工夫・充実する。
- ・いじめ早期発見・早期対応や不登校0、出現率減少に向け、協働体制での先手指導を進める。
- ・「特別の教科 道徳」を中心に道徳教育を充実する。
- ・読書に親しみ、読書習慣を確立し、心を耕す。
- ・夢や自分の目標実現に向けたキャリア教育を推進する。

学校・家庭・地域であいさつをする子：70%以上
 黙って時間いっぱい清掃する子：70%以上
 約束を守って生活する子：70%以上

学校経営目標

- (1)子どもの生き生きと粘り強く学びに向かう姿勢を引き出す授業を展開し、確かな学力の定着を図る。
- (2)温かい心と言葉を大切に、子どもの豊かな感性と人権感覚を磨き、健やかでたくましい体づくりを進める。
- (3)学校・家庭・地域総掛かりで、共に育む安心安全な教育活動を推進する。(コミュニティ・スクールの活用)
- (4)互いに支え合い、磨き合う教職員集団「チーム修南小」を確立し、協働して学校運営の工夫改善にあたる。(業務改善の推進)
- (5)適切な予算執行と校務の効率化を工夫し推進する。

活動づくり

○進んでみんなのために汗をかき、体を鍛え、健康な心と体づくりに励む活動を展開する

- ・互いのよさや違いを認め合う話し合い活動や成就感・達成感につながる活動で自治的な風土づくり、リーダー育成を進めるとともに、みんなで汗をかく楽しさを実感する。
- ・児童と共に汗をかき、学校と心を磨く縦割り黙働清掃活動を推進する。
- ・自己目標を定め、主体的に体力アップのための工夫をし、体力向上を図る。
- ・外部人材との食育授業や給食指導等で食に関する教育を充実させる。(早寝・早起き・朝ご飯の推進)

学校やクラスは楽しいと感じる子：70%以上
 外で元気に体を動かす子：75%以上

《アンケートにみられる保護者や地域の願い》

- ・根気よく、粘り強く取り組む子
- ・時間を決めて自ら家庭学習に取り組む子
- ・学力向上に努力ししっかりと実力をつけていく子
- ・道徳心を兼ね備えた思いやりのある子
- ・学校や学級が楽しく、いじめのない学校
- ・相談、情報発信がしやすい学校
- ・学校、家庭と地域総掛かりで子どもを育てていく学校

《小学校学習指導要領》

- ・確かな学力・豊かな人間性・健康・体力

《静岡県教育振興基本計画》

- 『有徳の人づくりアクションプラン』
- ・家庭や地域等との連携による学校教育
- ・ニーズに応じた学習環境づくり

《伊豆市学校教育の重点》

- ・確かな学力の定着を図る授業の推進
- ・豊かな心を育てる教育

《修善寺地区保こ小中連携構想》

- ・学ぶ力・関わる力(挨拶・聞く・話す)

《アンケートからわかる子どもの実態》

- 明るく素直に親しみの情を示す子どもらしさがある
- 互いに支えあい、協力して物事に向かえる
- 与えられた課題や仕事にはまじめに取り組む
- △校内でのあいさつはよく行なうが、地域のように場が変わると清々とあいさつすることができない
- 学力が二極化し、思考・応用・活用する力は弱い
- 根気強さ、ねばり強さ、自分を鍛えていく姿勢に課題がある
- 基本的生活習慣や規範意識には個人差がある
- 自信を持って物事に臨んでいく力が弱い